環境経営レポート

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号 0001111

2023年度

≪2023年8月1日～2024年7月31日≫

株式会社東産業

http://www.azuma-sangyo.com

発行日：2024年8月27日

改訂日：2024年9月27日

目　次

項　　目

Ⅰ	事業概要及び対象範囲	3~6ページ
Ⅱ	環境経営方針	7ページ
Ⅲ	環境経営目標	8ページ
Ⅳ	環境経営計画	9ページ
Ⅴ	環境経営目標及び環境活動計画の実績・取組結果とその評価、次年度の取組内容	10ページ
Ⅵ	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11ページ
Ⅶ	代表者による全体評価見直し・指示	12ページ

Ⅰ.事業概要及び対象範囲

1　事業所名及び代表者氏名

株式会社　東産業　　代表取締役　渡辺隆之

創立年月日：昭和41年11月10日　有限会社として設立

組織変更年月日：昭和53年12月10日　株式会社に変更

住所変更年月日：平成18年5月1日　横浜市港北区新吉田町198番地に変更

役員変更：平成27年8月1日　渡辺和芳を会長に変更

役員変更：平成27年8月1日　代表取締役を渡辺隆之に変更

2　資本金　1,000万円

3　所在地

神奈川県横浜市港北区新吉田町198番地

4　環境管理責任者、事務局担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：近藤一郎

事務局担当者：近藤一郎

連絡先：株式会社　東産業

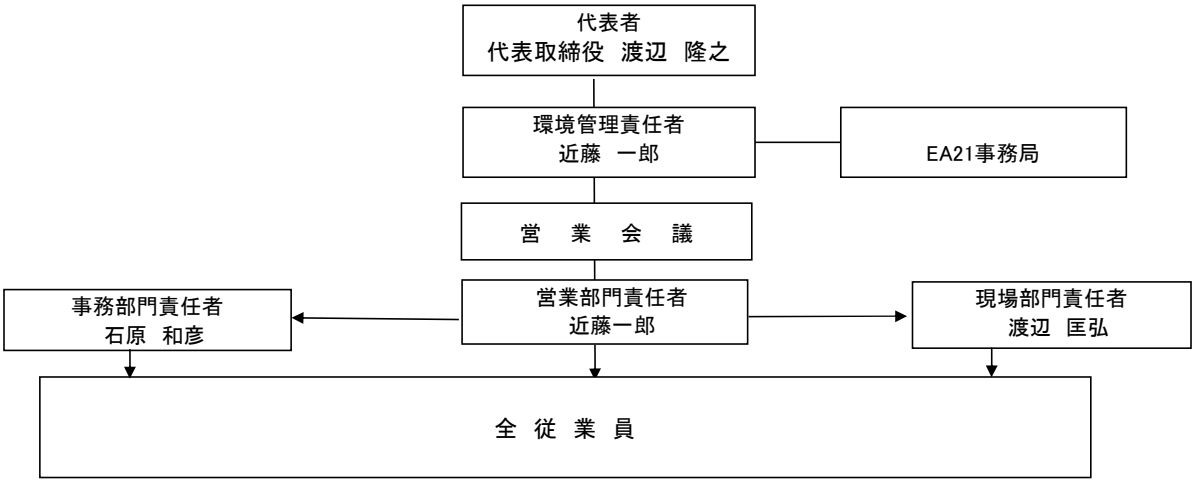
電話：045-594-0056

FAX：045-594-0087

Eメール：takayuki@azuma-sangyo.com

URL：http://www.azuma-sangyo.com

5　エコアクション21取り組み体制組織図



6 組織図の役割と責任及び権限

代表者

1 環境管理責任者の任命

2 環境経営方針の制定

3 環境経営システム実施及び管理に必要となる資金の調達

4 環境経営システムの定期的見直しの実施

5 社内情報の外部公開可否決定

6 経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

1 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置

2 代表者への環境管理システム実績報告及び指示に基づきEA21の推進

3 環境管理システムの教育・訓練の計画及び実施

4 外部からの苦情及び要望等に関する受付窓口

5 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守評価の確認

事務局担当

1 環境経営システム実施に関する実務

2 EA21の事務局の運営管理

3 文書類、記録の作成、管理

部門責任者

1 環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施

2 部門における環境負荷の程度をチェックし低減の方法を作業員に伝える。

3 環境経営目標に向けた取組実施

4 環境関連法規等遵守の取組

5 緊急事態対応試行訓練の実施と記録

全従業員

1 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚

7 事業活動の内容（EA21認証登録範囲・全組織・全活動）

①産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

②各種清掃、洗浄作業

（タンク、ピット、塔、槽の清掃・洗浄及び濾過器の濾材交換）

③各所、浄水場等の濾過池更生工事

8　事業の規模

活動規模	単位	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績
産業廃棄物処理取扱量	t	7,545	6,998	6,542
売上高	百万円	657	922	900
従業員	人	33	33	33
事務所床面積 （従業員の詰所を含む）	m2	117	117	117
〃　（倉庫）	m2	78	78	78

＊事業年度は8月から翌年7月とする。

9　産業廃棄物収集運搬許可地域一覧表

許可地域	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都	1300002272号	H30.10.1	R7.9.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、紙くず、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい
神奈川県	01402002272号	R4.11.1	R11.10.31	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、木くず、紙くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動植物性残さ、鉱さい
埼玉県	01101002272号	H30.7.6	R7.7.5	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、動植物性残さ
千葉県	01200002272号	R1.06.17	R8.05.29	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、　紙くず、木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい
栃木県	00900002272号	H31.1.23	R8.1.12	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、木くず
茨城県	00801002272号	R5.11.30	R12.10.25	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、木くず
群馬県	01000002272号	R2.6.22	R9.6.21	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、　紙くず、　木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
静岡県	02201002272号	R2.8.28	R9.8.27	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類
山梨県	01900002272号	R2.2.20	R9.2.19	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
長野県	2009002273号	R1.12.6	R8.12.5	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類
福島県	007070002272号	R3.5.27	R10.5.26	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、がれき類

10　特別管理産業廃棄物収集運搬許可地域一覧表

許可地域	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都	1357002272号	R4.9.3	R11.9.2	①廃油②廃酸③廃アルカリ④特定有害産業廃棄物（ア.廃水銀等　イ.廃石綿等　ウ.金属等を含む廃棄物）
神奈川県	01452002272号	R4.8.20	R11.8.19	①廃油②廃酸③廃アルカリ④特定有害産業廃棄物（ア.廃水銀等　イ.廃石綿等　ウ.金属等を含む廃棄物）
埼玉県	01151002272号	R5.6.27	R12.6.24	①廃油②廃酸③廃アルカリ
千葉県	01250002272号	R5.1.27	R12.1.26	①廃油②廃酸③廃アルカリ④特定有害産業廃棄物（ア.廃水銀等　イ.廃石綿等　ウ.金属等を含む廃棄物）
茨城県	00851002272号	R1.8.27	R6.8.26	①廃油②廃酸③廃アルカリ④特定有害産業廃棄物（ア.廃水銀等　イ.廃石綿等　ウ.金属等を含む廃棄物）⑤感染性産業廃棄物

11　車両保有台数：ディーゼル車　（2024年8月現在）

10t強力吸引車	4台	7t強力吸引車	1台	4t強力吸引車	2台
3t強力吸引車	1台	7tユニック車	2台	4tユニック車	1台
7tアームロール	2台	4tアームロール	2台	3tアームロール	2台
2tトラック	4台	ワゴン車	1台	軽バン	2台

12　収集運搬実績

	産業廃棄物													
産廃種 / 年月	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	ガラス	金属くず	がれき類	燃え殻	鉱さい	ｶﾞﾗｽ石綿含有	合計（t）
2021年度実績	5,033	138	29	175	1,045	6	30	32	298	300	86	0	0	7,172
2022年度実績	4,377	149	73	45	1,226	2	38	25	431	448	45	0	0	6,859
2023年度実績	4,504	193	29	20	737	0	25	20	290	381	206	0	0	6,405

	特別管理産業廃棄物				
産廃種 / 年月	引火性廃油	強酸	汚泥（有害）	強アルカリ	合計（t）
2021年度実績	142	27	163	41	373
2022年度実績	59	5	13	55	132
2023年度実績	77	1	34	19	131

＊年度は8月から翌年7月とする。

Ⅱ. 環境経営方針

［企 業 理 念］

株式会社東産業は、産業廃棄物の収集・運搬、各種清掃及び洗浄作業等の業務を通じ、循環型社会に対応し環境改善に努めなければならないと認識し、地球環境保全活動の推進を図り、社会に貢献することを企業理念としております。この理念に基づき、以下の項目について継続的改善に取り組みます。

1. 環境保全への取組みを当社経営の最重要課題の一つとして位置づけます。
2. 該当する環境関連法規等を遵守します。
3. 事業活動に伴う環境負荷の低減を目指し、次の環境保全活動を推進します。
   - ① 二酸化炭素排出量を削減する。
   - ② 電力使用量を削減する。
   - ③ 収集運搬車両のエコドライブを実践し車両燃費の向上に取り組む。
   - ④ 廃棄物排出量を削減する。
   - ⑤ 節水を心がける
   - ⑥ 環境に配慮した収集運搬を推進する。
4. この方針は社内全員に周知させます。

制定日:2006年7月1日

改定日:2023年9月14日

株式会社　東　産　業

代表取締役社長　渡辺　隆之

Ⅲ. 環境経営目標（中期目標含む）

取り組み項目	単位	基準年度（2022年度実績）	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減					
CO_2総排出量	kg-CO_2	359,731	357,932 －0.5%	356,133 －1%	354,335 －1.5%
車両燃費の向上	km/ﾘｯﾄﾙ	6.78	6.81 ＋0.5%	6.84 ＋1%	6.88 ＋1.5%
電力消費量の削減	kWh	13,178	13,112 －0.5%	13,046 －1%	12,980 －1.5%
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物排出量（可燃ごみ）の削減	kg	496	491 －1%	486 －2%	481 －3%
産業廃棄物のリサイクル率の向上	%	79%	80%	81%	82%
水使用量の削減					
水使用量の削減	m3	499	496 －0.5%	494 －1%	491 －1.5%
作業の効率化					
作業の効率化	点	41点／60点	42点／60点	43点／60点	44点／60点

＊化学物資の使用はありません。

＊購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)2021年度の調整後排出係数0.457kg-CO_2/kWhを使

＊車両の燃費については、強力吸引車は対象車両から除外する。

＊作業の効率化の目標値は3項目を作成し、5点満点で評価する。3ヶ月毎に評価し、その合計点を年間の目標値とする。

＊産業廃棄物のリサイクル率は搬出先を選定し、搬出先の処理方法（再資源化と最終処分）によって算出した。

Ⅳ. 環境経営計画

2023年8月～2024年7月

取組項目	取組内容と計画
二酸化炭素排出量の削減	
・ 車両燃費の向上 ・ 電力使用量の削減	6か月ごとに実績値を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
車両燃費の向上	
・ アイドリングストップ ・ 急加速の抑制 ・ 冷房の控えめ使用 ・ 省エネタイプの車両への入れ替え ・ 通行ルートの事前チェック	6か月ごとに燃費の実績値を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
電力使用量の削減	
・ 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 ・ 不要照明のスイッチオフ ・ 昼休みの消灯 ・ ブラインドを利用して熱の出入りを調節 ・ 軽装、重ね着など服装を工夫する ・ 省エネ機器への入れ替え	「ムダをなくす」ことを基本に取り組む。6か月ごとに電力使用量の実績値前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
廃棄物の削減	
・ 廃棄物分別の徹底 ・ 紙類使用量の削減 ・ コピー用紙の裏紙利用 ・ デジタル化の推進	6か月ごとに廃棄物の実績値を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
水使用量の削減	
・ 洗濯、洗車時の節水 ・ 「節水」ステッカーを貼り意識を高める ・ 漏洩を定期的に点検	6か月ごとに水使用量の実績値を前年度と比較し評価する。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
作業の効率化	
・ 事前打ち合わせを充実させ、効率的な準備をする ・ 車両や機材の定期的な点検整備を行い、故障を防ぐ ・ 運搬ルート、移動時間を考慮して配車を組む	日頃から、気が付いた事を放置せず、改善の必要があれば、随時見直しを図る。管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。

Ⅴ.環境経営目標に対する実績値と評価、次年度の取組内容

取り組み項目	単位	基準年度 （2022年度実績）	2023年度目標	2023年度実績	評価	取組状況の確認及び評価、次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減						
CO_2総排出量	kg-CO_2	359,731	357,932 －0.5%	342,176 －4.9%	○	前年度より4.9%削減。軽油使用量が減少。二酸化炭素排出量の9割以上は軽油使用量がしめているので、仕事量の増減に左右される。
車両燃費の向上	km/リットル	6.78	6.81 ＋0.5%	6.41 -5.4%	✖	前年度より5.4%低下。2t車（作業車）の燃費が悪い。遠方の仕事が減って、近場の仕事が増えた結果であろう。
電力消費量の削減	kWh	13,178	13,112 －0.5%	13,454 ＋2.1%	✖	前年度より2.1%増加。 平年より高い気温と、熱中症対策でエアコンをこまめに切ることを止めたことが原因であろう。 今年度の取組を継続する。
廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物排出量（可燃ごみ）の削減	kg	496	491.00 －1%	４９１ －1%	○	前年度より1%削減。 目標達成。 今 年度の取組を継続する。
産業廃棄物のリサイクル率の向上	%	79%	80%	81%	○	前年度より2%向上。 目標達成。 今 年度の取組を継続する。
水使用量の削減						
水使用量の削減	m3	499	496 －0.5%	448 －10.2%	○	前年度より10.2%削減。目標達成。 作業着、手袋等の洗濯方法を効率的に工夫した結果であろう。 今年度の取組を継続する。
作業の効率化						
作業の効率化	点	41点／60点	42点／60点	42点／60点	○	適正な仕事量の時期には、質の高い仕事が行えているが、繁忙期(12月～2月)は効率が下がる傾向にある。今年度の取組を継続する。

＊化学物資の使用はありません。

＊購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)2021年度の調整後排出係数0.457kg-CO_2/kWhを使用した。

＊車両の燃費については、強力吸引車は対象車両から除外する。

＊作業の効率化の目標値は3項目を作成し、5点満点で評価する。3ヶ月毎に評価し、その合計点を年間の目標値とする。

評価基準は5点：優秀、4点：概ね良好、3点：もう少し努力を、2点：取組不十分、1点：全く取り組んでない

Ⅵ. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

遵守確認：2024年8月16日　　近藤一郎

区分	関連法規制等		条項の内容	遵守評価	
	法規制名	条項		証拠	判定
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条の2	産業廃棄物保管基準の遵守（掲示板など）	随時確認	○
		第12条の3	運搬・処分を委託する場合産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）を交付する。	マニフェスト	○
		第12条の3,6	毎年6月30日までに、前年度に交付したマニフェストの交付状況を様式3号（産業廃棄物管理票交付状況報告書）により、都道府県知事に報告する。	報告書	○
		第12条の7	排出事業者の産業廃棄物委託先の処理状況の確認をする	公表情報	○
		第14条	収集運搬業の許可、更新の届け出	許可証	○
			収集運搬業許可申請に関する講習会の受講	修了証	○
		則第7条の二	収集運搬時のマニフェスト、許可証の写しの携帯	随時確認	○
			産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨、氏名又は名称及び許可番号の表示	納車時確認	○
大気汚染	自動車NOx・PM法	第4条	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	車検証	○
危険物	消防法	第13条	危険物取扱者講習	資格証	○
フロン	フロン排出抑制法	第16条	簡易点検の実施、廃棄後3年間の記録を保存する	点検記録	○
条例	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	第4条	廃棄物の減量化、資源化、適正処理	契約書 マニフェスト	○
	横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例	第138条	駐車時はアイドリングストップ	タコグラフ	○
	川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	第99条	エコ運搬制度	ステッカー 車検証	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

Ⅶ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年8月27日

取組項目別の評価	環境管理責任者　近藤一郎
1　環境経営目標とその達成状況　　今までの実績データ等を加味し2022年度を基準に取組む。	
・　未達成項目有（車両燃費の向上、電力消費量の削減） ・　設定に問題　　有　・　(無)　（毎月の個別案件ごとの実績値の記録を継続し必要に応じ見直す）	
2　環境経営計画の実施状況	
・　取組に問題　　有　・　(無) ・　次年度の取組　　継続	
3　環境関連法規の見直し・遵守状況	
・　見直し　　有　・　(無) ・　遵守状況　　良好	
代表者による変更の必要性の判断・指示	代表取締役社長　渡辺隆之
総論 今期の環境活動取組結果は6項目のうち2項目が未達成となりました。未達成の2項目については、原因の推察は出来ていたので、未達成の原因となる行動の是正、目標値の検討を行い改善するようお願いします。また、改善を行った結果・データを確認し、対応策が適当であったか検証して下さい。	
評価結果	
1　環境経営システム　　有効に(機)能している　・　　機能していない 2　環境への取組　　(適切)　・　一部適切ではない	
変更判断・指示	
1　環境経営方針の変更　有　・　(無)　　2　環境経営目標の変更　有　・　(無) 3　環境経営計画の変更　有　・　(無)　　4　実施体制の変更　有　・　(無)	